

地方CR活動

高知県協会

授与式・交流会

介護福祉士養成給付型奨学生 卒業激励会を開催しました

高知県協会（会長：小林秀人 第一生命高知支社長）は、生命保険協会が実施している「介護福祉士養成給付型奨学金制度（1989年度より開始）の今年度対象の奨学生2名ならびに担当の先生方をお迎えし、2月12日に昼食を兼ねて激励会を開催しました。

小林会長からは「ご卒業・就職、本当におめでとうございます。介護に携わるお仕事は想像以上に大変だと思いますが、自分の理想の介護福祉士を目指して頑張ってください。今後も応援しております。」と開会挨拶があり、その後、担当の先生から奨学生お二人の『人となり』についてご紹介いただき、卒業記念品を（名刺入れ）贈呈し昼食会がスタートしました。昼食会は終始和やかで、若い奨学生お二人のキラキラした瞳が印象的でした。

最後に、奨学生から今後の抱負を「社会に出ても自分自身の軸を大切にぶれることなく、自己研鑽し自ら決めた介護の道を最後までやり続けます。介護技術はまだですが、今後は介護福祉士として、より多くの方の力になれるよう更に技術を磨き、早くひとり立ちできるよう頑張ります。」と、力強く話していただきました。

高知県協会では、今年度の2名を加えて、累計67名・全国では累計5,986名に奨学金を支援しています。

当協会は、引き続き地域社会の福祉活動に取り組んでいきます。

